

「第24回企業環境セミナー」を開催しました（12月8日）

2021年12月8日(水)13:00~16:40に、コロナ禍のため初めてのWEBセミナーで、23年前(1998年10月)から継続している「企業環境セミナー」を開催しました。

現在、多くの事業者は、ISO 14001の2015年版に適用した環境マネジメントシステムに取り組まれています。一部では、2030年をゴールとする国際的なSDGsへの取り組みも始められています。

そこで、今回のテーマは、ISOとSDGsとの関連、つながりを重視し、「ISOの運用で、SDGs活動を推進しよう」としました。

参加者は、一般参加者(大半が県内の中小企業)が13名、EC千葉の会員が14名、講師3名、来賓2名の総勢32名でした。

第1部 講演

・「ISO14001を活用してSDGsに取り組む」

サステナビリティ・コンサルティング 代表 猪刈 正利様

2030年をゴールとするサステナビリティに関する国際的な取り組みとしてのSDGsの活動がさかんになりつつあるが、その意義と経緯について解説され、中小企業を取り巻く事業環境の変化に対応したISOの環境マネジメントシステム(EMS)との関連を分かりやすく説明されました。

とくにSDGsの17のゴールに対し、ISO14001の要求事項とのひもづけを明確にされ、実務に直結した活動となりうる事が参加者に理解していただけたと思います。

第2部 事例紹介

・「あらゆる廃油のリサイクル SDGsを活用したさらなる再資源化」

千葉オイレッシュ(株) 営業部長 村越 光訓様

1981年から廃油再生業を始められ、2004年にISO14001の認証を取得し、再生油、RBF(リサイクルブレンド燃料)、SRF(スラリーリサイクル燃料)などへの再資源化を行われ、再生燃料としての経済効果及び二酸化炭素排出削減効果による地球環境貢献を果たされていることの説明をいただきました。さらにSDGsに関わるバリューチェーンが実務とどう関わるかを明確してSDGsとしての取り組みを紹介され、それらは日常のISO活動と効果的につながっているとのことでした。

・「マテリアルリサイクルとSDGs 循環型社会の形成」

(株)セイコーインターナショナル 取締役 総務部長 左向 隆様

1997年に創業され、プラスチックリサイクルを主としたマテリアルリサイクル、顧客や同業者を包含したマッチングビジネス、包装資材などのリユース事業や駐車場事業にISO 9001及びISO 14001を適用して、ISOを投資と考え、コストにならないとの配慮をされてきたとの説明がありました。さらに2030年をめざして、資源、エネルギーの価値の最大化を通じて社会貢献をすべく、マテリアルリサイクルを主とした事業にSDGsの取り組みの展開事例の紹介をしていただきました。

第3部 個別相談会

最近SDGsに取り組みを始められた事業者から、個別相談依頼があり、他の参加者が退出されたあと、EC千葉のEMS支援センターの担当者が相談に応じました。